

クオリティインディケーター(QI)成果報告

〔救急診療科〕

指標名

7day Bounce-back admission(救急外来から帰宅後 7 日以内の予定外入院または予測されない死亡)の割合

目標・ゴール

2.5%以下

目標・ゴール達成による効果

救急外来での的確な重症度判断により、患者の安全が保障される。

目標・ゴールに対する成果の状況

帰宅・入院患者数と7day-Bounce-back Admissionの割合の推移



	2019	2020	2021	2022	2023	2024
BBA総数	141	80	167	106	144	108
帰宅症例に占める割合	1.9%	1.3%	2.4%	1.4%	2.0%	1.4%
診断見落とし	73	35	48	57	62	52
診断見落としの割合	51%	44%	29%	54%	43%	48%

全帰宅症例に対して、7d-BBA と認定された症例は 2023 年度の 144/7,163 件 2.01%に対して、2024 年度は 108/7,852 件 1.38% と前年度を大きく上回り目標とする 2.5%以下が達成できた。

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☒S :大幅に目標を上回った
- ☐A⁺: 目標を多少上回って達成
- ☐A : 目標を達成
- ☐B⁺: 目標を少し下回った
- ☐B : 目標を下回った
- ☐C : 目標を大幅に下回った
- ☐ー : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

当科で管理している診療資料や web 学習コンテンツを院内へ普及させることなどにより、病院全体での救急診療レベルの向上と、7d-BBA の増加抑制に引き続き努めていきたい。